

# 講座テーマ

## 食品ロス削減

# SDGs 未来都市・横浜

### 学びのポイント



- 食品ロスの定義や現状、環境に及ぼす影響、課題を学ぶ。
- 課題解決に向けて何が必要か、どんな取組を行っているかを学ぶ。
- 一人ひとりができることを学び考え、行動につなげる。

### 食品ロスに関する環境学習の視点【消費者教育・世界の食料事情】

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず、食べ残しや期限切れなどの理由により廃棄される食品のことです。食品は、生産・流通・廃棄それぞれの過程でエネルギーを使用し、温室効果ガスを排出しています。食品ロスは「もったいない」だけでなく、地球温暖化の一因となっています。

2030年に向けて、食品ロス削減は、SDGs(持続可能な開発目標)にも位置付けられています。世界的課題として取組が進められている食品ロス削減について、環境、食育、地産地消、飢餓、貧困、福祉などの視点から考えることにより、持続可能な社会の担い手の育成につなげます。

横浜市の家庭では、食品ロスにより1人あたり**19,000円/年**を損失している。(2020年度推計)

横浜市家庭からは、年間約9万3千トンの食品ロスが発生しています。

世界では毎年、生産された食料の**1/3**が捨てられている

日本では賞味期限切れ、食べ残し、売れ残りなどで食品ロスが発生しています。

**世界の10人に1人**が栄養不足

世界では、すべての人が十分に食べられるだけの食料が生産されているにもかかわらず、約8億1,100万人が慢性的な栄養不足です。

(世界の食料安全保障と栄養の現状：2021年版)

食品ロスは**地球温暖化**の原因になる

捨てられてしまう食品も生産・流通・廃棄の際に二酸化炭素を出しています。地球温暖化が進むと、気温の上昇や異常気象により農作物の生育に影響を及ぼします。食品の値上がりも心配ですね。

日本では食料の**約6割**を海外からの輸入に頼っている(カロリーベース)

現在76億人の世界人口は、2030年までに86億人に達するといわれています。私たちの食への影響も気になりますね。

### 基本プログラム

#### 食品ロスの現状、基礎を理解する

食品ロスの定義、食品ロスの現状、食品の生産から廃棄までの過程や消費期限と賞味期限の違いなどの学習を通じて、食品ロスが及ぼす影響や食品ロスを出さない生活習慣を学びます。また、日本の食料自給率や世界の食料事情など、日本と世界の現状を学び、自分たちができることを考えます。



## 選択プログラム

### ① 生ごみの堆肥化と栽培を通じた食の循環体験学習【食育、地産地消の視点】

「生ごみの堆肥化→苗植え→野菜等の栽培→収穫→食べる」という「食の循環」を体験することで、野菜の成長、作る喜び、野菜の美味しさなどを感じながら、「食の大切さ」を学ぶことにつながります。

- ・堆肥化の講義のほか、年間を通じた長期の講座とし、時期ごとに実地で学ぶこともできます。
- ・必要器材(生ごみ処理器やプランター)貸出しもできます。

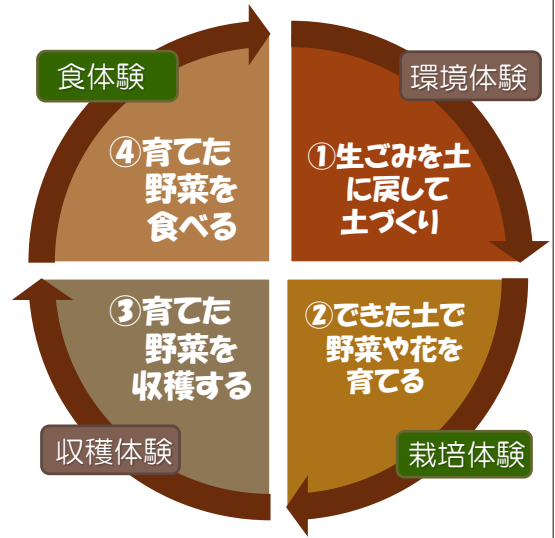


生ごみ処理器(キエーロ)



へら星人「ミーオ」

ヨコハマ3R夢(スリム)！  
マスコット「イーオ」



食に関する循環の体験

### ② 食材を無駄にしない調理や保存に関する学習【調理・保存の工夫の視点】

資源循環局作成「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」では、食材を無駄にしない調理方法や保存方法、野菜の旬などを紹介しています。使い切りレシピを使った授業での調理や冷蔵庫収納、ローリングストックの講義などにより、食品ロスを出さない調理や保存の工夫を学ぶことができます。

- ・「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」では、捨ててしまいがちな野菜の皮や芯も全て使う調理法を提案しています。また、簡単時短、冷蔵庫の残り野菜を使ったレシピやリメイクレシピもご紹介します。



まるごと旬野菜～使い切りレシピ～

- ・「冷蔵庫収納」講座では、食品ロスを出さないために冷蔵庫を上手に整理整頓する方法をご紹介します。冷蔵庫を快適に効率よく使用でき、食品ロスを出さない方法について学ぶことができます。



冷蔵庫整理術の講演

※外部講師は有料の場合があります。

- ・「ローリングストック」は、期限切れによる食品ロスを出さず、防災に備えることができる方法です。講座では、ローリングストックの利点やご家庭で簡単に実践できる方法について学ぶことができます。



## 選択プログラム

### ③ 社会や企業等の取組【社会情勢への視点】

小売業や製造業など食品に関わる企業では様々な食品ロス削減に向けた取組が行われています。

フードバンク・フードドライブ活動やフードシェアリング※、「食品ロスの削減の推進に関する法律」(令和元年10月1日施行)など、食品ロス削減を目指した社会の動向や情勢について学びます。



- ※・フードバンク・・・各家庭や食品を取り扱う企業から、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を引き取り、福祉施設などへ無償で提供する団体・活動
- ・フードドライブ・・・各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設などに寄贈する活動（「ドライブ」とは「寄附」を意味します）
- ・フードシェアリング・・・何もなければ廃棄されてしまう商品を消費者のニーズとマッチングさせることで食品ロスの発生や無駄を減らす仕組み

## 食品ロスに関する動画の紹介

横浜市では、食品ロス削減に関する動画を作成しております。動画をご覧になった皆さまが、食品ロス削減を自分事として捉え、取り組むことをご提案しています。

ウェブサイト <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/gakushu/default20200.html>

### まるごと旬野菜～使い切りレシピ～

- ◆野菜をまるごと使うレシピを紹介しています。
- ◆野菜の特徴や保存方法、リメイクのアイデアをご紹介し、おいしい料理を楽しみながら、食品ロス削減にも取り組める内容としています。
- ◆2分程度の映像で素早く理解できます



### 減らそう！食べ物の「もったいない」



### 減らそう！食べ物の「もったいない」

- ◆横浜市の食品ロスの現状を説明しています。
- ◆食品ロスを減らすために、ご家庭で出来る具体的な取組をご提案しています。
- ◆3分程度の映像で素早く理解できます

### 食品ロスで地球が減びる？～食べ残し大魔王に打ち勝つ方法を考えよう！～

- ◆小学生向けに、横浜市の食品ロス問題を説明しています。
- ◆食品ロスを減らすために、自分に何ができるのか考えることを促す内容としています。
- ◆4分半程度の映像で素早く理解できます。

### 食品ロスで地球が減びる？～食べ残し大魔王に打ち勝つ方法を考えよう！～



### 学びのポイント



- プラスチックごみが引き起こす環境汚染の現状を学ぶ。
- 課題解決に向けて何が必要か、どんな取組を行っているかを学ぶ。
- 一人ひとりができることを学び考え、行動につなげる。



### プラスチックごみ問題に関する環境学習の視点

プラスチックは軽量で丈夫、加工もしやすいことから、さまざまな製品や容器包装に幅広く利用されています。一方で、その優れた耐久性、安定性により、プラスチックは、自然界では分解されにくいという特徴があります。ひとたび自然界に流出すると、河川を通じて海にたどり着き、海洋汚染につながっています。このまま、何も対策を講じなければ、2050年には魚の重量を上回るプラスチックが、海洋環境に流出するとの予測もあります。また、プラスチックの焼却により、温室効果ガスが多く発生し、地球温暖化の一因にもなっています。

世界的な課題となっているプラスチックごみ問題の解決のため、「資源循環」「海洋流出対策」「連携協働」の視点から学びます。

- ・ワンウェイプラスチック※の削減、プラスチックの分別・リサイクルのさらなる推進に加え、再生材や代替素材の利用を促進するなど、資源循環の取組。
- ・プラスチックが海洋に流出することがないような対策の推進。
- ・「資源循環」や「海洋流出対策」の取組を加速していくため、市民・事業者・行政の連携協働。

※ワンウェイプラスチック：レジ袋やストロー等使い捨てとなるプラスチック



海外のプラスチックごみの状況(環境省)

### 基本プログラム

#### プラスチックごみ問題の基礎を理解する

プラスチックによる海洋汚染の現状や、プラスチックごみの燃焼による地球温暖化について学ぶことで、課題を自分のものとして捉えてもらいます。そのうえで、そうした課題を解決していくために、使い捨てプラスチックの削減など、具体的に、自分たちにできることを考えます。



打ち上げられたクジラの子ども

## 選択プログラム

### ① 社会におけるプラスチック【環境問題の学びの視点、消費者意識向上の視点】

プラスチックは軽量で丈夫、成型しやすいことから、第二次世界大戦後に急速に普及し、今や生活になくてはならないものとなっています。こうしたプラスチックの特性や世界で使われている現状、さらにレジ袋やペットボトルなどの身近なプラスチックの事例やデータを紹介しながら、環境汚染との関わりについて学び、日常生活におけるプラスチックとの上手な付き合い方を考えます。



川岸のプラスチックごみ

提供：公益財団法人かながわ海岸美化財団

### ② マイクロプラスチック【環境問題の学びの視点】

マイクロプラスチックとは、海に流出したプラスチックが波や紫外線の影響で細くなったもの、または洗顔料などに含まれているマイクロビーズなど、微細な5mm以下のプラスチックの総称です。有害物質を吸着しやすいというプラスチックの性質から、健康への悪影響も懸念されています。

このマイクロプラスチックについて学びを深めます。



水面を漂うプラスチックごみ

### ③ プラスチックをめぐる企業等の取組【消費者意識向上の視点】

プラスチックごみ問題に取り組む企業などの事例を学びます。2020年7月からレジ袋が有料化された狙いや、それに先立ってプラスチック製の袋を廃止した小売業者、紙やバイオマスなどの代替素材を使った製品を作っている企業の取組などを通じて、自分たちの身近で取り組めることを考えます。



間伐材で作った木のストロー

(ヨコハマSDGsデザインセンター)

## 講座テーマ

# ごみのゆくえ

しゅうしゅうしゃ  
収集車って  
なん  
何kg まで  
はい  
ごみが入るの？

ぶんべつ  
分別しても、  
さいご も  
最後は燃やして  
ほんとう  
しまうって本当？



がっこう  
学校には  
よこはまし しゅうしゅうしゃ  
横浜市の収集車が  
こ  
来ないのはなぜ？

しょうきやくこうじょう  
焼却工場で  
も あと  
ごみを燃やした後は  
どうするの？

しゅうせきばしょ ほか  
集積場所の他に  
しげんぶつ  
ごみや資源物を  
も こ ばしょ  
持ち込める場所は  
ないの？

しょうきやくこうじょう となり  
焼却工場の隣に  
おんすい  
温水プールが  
あるのはなぜ？



かん  
缶・びん  
ペットボトル  
おな ふくろ い  
同じ袋に入れて  
いいのはなぜ？

## 基本プログラム

そんな疑問にお答えします。。

### 廃棄物処理の流れを理解する

集積場所から集められたごみや資源物がどのように処理されているのかを理解することにより、市民一人ひとりが「廃棄物を適正に処理する仕組み」の出発点であり、その担う役割が大きいことを学びます。

また、リサイクルの工程やごみの最終処分の様子を知ること、「なぜ分別しなければならないのか？」「なぜごみを減らさなければならないのか？」を理解します。

## 選択プログラム

### ① 収集作業の1日【勤労観・職業観育成の視点】

聞いて  
みよう

収集職員が1日の作業の様子を説明します。

実際に使用している収集地図の紹介や「1日何kgのごみを集めるのか?」「1日何か所の集積場所を回るのか?」などの話を聞くことで、収集作業の様子を捉えてもらうとともに「もしごみの収集が止まってしまったら?」を考え、廃棄物処理事業が果たしている役割を学びます。



### ② 収集車を見る・触れる【身のまわりの仕事に関する学びの視点】

触れて  
みよう

本物の収集車を使って、収集車の仕組みや収集作業の手順を説明します。

ごみの積み込み作業やボタン操作の体験、収集車のごみを排出する動作の見学などを通じて収集作業への関心を高めます。



### ③ 資源選別センターや焼却工場等の仕組み【リサイクル資源供給者の視点】

見て  
みよう

集められたごみや資源物が、資源選別センターや焼却工場でどのように処理されているのかを、ビデオなどを通じて詳しく学びます。

また、資源選別センターや焼却工場の処理工程を理解することで、「なぜごみや資源物の出し方に細かいルールが決められているのか?」の理解につなげます。



## 講座テーマ

# ごみの分別・リサイクル



## 学びのポイント

- ごみの分別に関する現状、必要性、課題を学ぶ。
- ごみの分別徹底のため、横浜市が行っている取組を知る。
- 一人ひとりができることを考え、行動につなげる。



南本牧第5ブロック最終処分場

## ごみの分別・リサイクルに関する環境学習の視点

ごみ処理による温室効果ガス総排出量のうち、約9割が焼却工場でごみを焼却することで排出されます。そのうちの約8割はプラスチック類の焼却によるものです。したがって、温室効果ガスの削減のためにはプラスチック製容器包装の分別が重要ですが、まだ「燃やすごみ」の中に多くのプラスチック製容器包装が含まれています。排出されるプラスチック製容器包装の約34%が分別されずに燃やされています。

また、横浜市唯一の一般廃棄物最終処分場(南本牧第5ブロック最終処分場)を長く大切に使うためにも、ごみの分別を徹底することが必要です。

ごみの減量化・資源化を進め、ごみを適正に処理し、より快適な生活環境をつくっていくため、資源物の分別の徹底や適切なごみの出し方、集積場所の清潔保持など、協力いただきたいいろいろなことについて学びます。

## 基本プログラム

### 横浜市の分別ルールを理解する

横浜市では効率的な資源化を目的として、15種類の品目について10種類の分別で排出することを定めています。

資源物を適切にリサイクルするためには、各家庭でごみと資源物をきちんと分別していただく必要がありますが、まだ多くの資源物が燃やすごみの中に混入しています。

そこで、特に混入することの多い「プラスチック製容器包装」と「古紙」を中心に、横浜市の分別ルールについて説明します。

また、正しく分別することが地球環境の保全につながることをお伝えし、分別意識の向上を図ります。





## 選択プログラム



### ① 実際に分別してみよう(分別ゲーム)【家庭における実践の視点】

- ① 実際のごみの見本を手にとって分別します。  
たくさん用意された ごみの見本(間違いやすいものも含む)の中から分別を体験します。
- ② 分別が終わったら答え合わせです。  
間違ってしまった品目を中心に、「分け方」を説明するだけでなく「なぜ、このように分ける必要があるのか」をお伝えし、分別ルールをしっかりと学びます。



### ② 分別徹底のための取組【市民意識向上の視点】

横浜市では市民・事業者ともに、ごみを出すときには、決められた分別区分や排出方法に従うことが、条例により義務付けられています。

分別されていないごみ袋については、啓発用シールを貼って取り残し、ごみを出した人に注意を呼びかけています。

また、分別されていないごみ袋を本市職員が開封調査し、繰り返し指導などを行っても分別しない市民・事業者に対して罰則(過料 2,000 円)を科す制度を実施しています。

それらの取組をご紹介することで、一人ひとりの分別意識の向上を図ります。

### ③ グループワーク「自分たちにできること」【環境問題への市民参加の視点】

地域の生活環境の維持・向上には廃棄物を適正に処理する事が不可欠であり、適正な処理が地球環境保全へとつながります。

「正しいごみ出し」という身近に実践できる環境保全活動に関して、自分たちにできることは何か、またその行動はどのような未来につながるのかを考えます。

